

共通教育科目の学び方

～共通教育科目履修ガイド～

2024

共通教育科目とは・・・

- ✓ 教養科目
- ✓ 言語系科目
- ✓ 理数系科目
- ✓ 環境系科目
- ✓ 社会連携・国際理解科目

教養科目、環境系科目、社会連携・国際理解科目・・・P. 1～3

- 「スタディスキルズ」「学修と実工学」
「大学生のための文章読解」の履修について・・・P. 1
- 教職課程の履修科目について・・・P. 1
- 春学期時間割・・・P. 2
- 履修方法・・・P. 2
- 「ものづくり基礎実習Ⅰ」「健康とスポーツ」
の履修について・・・P. 3
- 学修サポート体制・・・P. 3

言語系科目、理数系科目・・・・・・・・・・・・・・P. 4～6

- 『セメスター科目』『クォータ科目』とは・・・P. 4
- 女子学生のための『F休養』・・・P. 4
- 英語クォータ科目について・・・P. 4
- 数学・物理クォータ科目について・・・P. 5～6
- 「工学基礎実験」の履修について・・・P. 6

その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 7

- 相談窓口
- 関連研究室・センターのマップ

共通教育科目の履修で
迷ったらこの冊子を参照すれ
ばいいんだね



さあ新たな知識と出会い
未来への創造の扉を開けよう



日本工業大学
共通教育学群
TEL: 0480-33-7571

<https://www.nit.ac.jp/original/common/>

皆さんの履修のバイブルは『学生便覧』です。
学位取得に必要なことや学内施設・設備、
制度等について詳しく書かれています。
いつでも確認できるように、
学生便覧2024年度版をダウンロードまたは印刷
しておきましょう。
また、学生便覧 P.23-27の
『修学上知っておきたいこと』をよく読んで
おきましょう。

教養科目 環境系科目 社会連携・国際理解科目

教養科目とは



社会人として必要な教養を身につけるための科目です。人文科学、社会科学、自然科学及びスポーツのさまざまな科目があります。また、新入生の皆さんが、高校までとの違いを知り、大学生として自律的に学ぶ力を身につけるための科目もあります。これらの科目を幅広く学ぶことで、エンジニアとして、また社会を構成する市民としてのアイデンティティを確立し、主体的に生きる力を身につけることを目指します。



環境系科目とは

持続可能な環境共生社会の一員としての基礎知識を学び、環境の問題を意識して具体的、総合的に考えて自ら発信できる力を身につけます。ものづくりをする人としても社会人としても、欠かせない基準となるものです。

社会連携・国際理解科目とは

社会に必要な基礎知識をはじめ、起業までを見据えたキャリア形成、地域連携を実践的に学ぶ社会連携科目と、英語での研究・発表能力を向上させ国際理解を深める科目、留学生向け科目が含まれます。多くが各種センター等で開設している科目です。

「スタディスキルズ」「学修と実工学」 「大学生のための文章読解」

⇒ 1年での履修を推奨！

教養科目の「スタディスキルズ」「学修と実工学」「大学生のための文章読解」は、特に1年の間に履修することを推奨します。これらの科目では、大学4年間の学びを確かなものにするために、読み、考え、書き、形にすることを学びます。大学生としての学び方を知り、主体的に学ぶ力を養う科目群です。

各科目の詳細は、ポータルサイトの「シラバス検索」から参照することができます。各自の興味関心や必要性に応じて、春学期にまずはこの中から1科目履修して、大学生としての自信を深めましょう。

➤ 教職課程を履修する予定の皆さんへ

教職課程を履修して教員免許状を取得しようとする場合は「法学（日本国憲法）」が必修科目となります。その他にも「健康とスポーツ」「生涯スポーツ」（2年対象科目）のいずれかを修得する必要があります。さらに「健康科学」（2年対象科目）も必修科目となります。卒業までに修得してください。

1年 春学期 時間割



(茶色：教養科目、緑色：環境系科目、紫色：社会連携・国際理解科目のみ抜粋)

★：遠隔授業

※1：電気電子通信工学科、応用化学科、ロボティクス学科、建築学科のみ履修可能

※2：情報メディア工学科、データサイエンス学科のみ履修可能








※3：機械工学科、データサイエンス学科のみ履修可能

※4：基幹工学科、建築学部のみ履修可能

※5：基幹工学科、先進工学科のみ履修可能

※6：先進工学科、建築学部のみ履修可能



	1時限	2時限	3時限	4時限
月曜日	心理学★ 健康とスポーツ 大学生のための文章読解※1 エコ入門★	心理学★ 健康とスポーツ 科学へのいざない★ 大学生のための文章読解※2 現代社会の基礎知識Ⅰ エコ入門★※4	健康とスポーツ 	
火曜日	法学（日本国憲法） 大学生のための文章読解 学修と実工学	法学（日本国憲法） 大学生のための文章読解 学修と実工学		大学生のための文章読解
水曜日	心理学★ 健康とスポーツ 学修と実工学 エコ入門★※5 Focus on Inter-Cultural Communication	心理学★ 健康とスポーツ スタディスキルズ 学修と実工学	スタディスキルズ 	
木曜日	科学へのいざない★ 健康とスポーツ 大学生のための文章読解 エコ入門★※6 Focus on Inter-Cultural Communication	健康とスポーツ 大学生のための文章読解※3	スタディスキルズ 	
金曜日	大学生のための文章読解	大学生のための文章読解 エコ入門★		
土曜日	ものづくり基礎実習Ⅰ	ものづくり基礎実習Ⅰ	ものづくり基礎実習Ⅰ	ものづくり基礎実習Ⅰ

➤ 履修方法

- 必修以外の科目は「教養科目」「環境系科目」「社会連携・国際理解科目」（および、言語系科目、理数系科目）から自由に選ぶことができます。
- 自分で履修する科目を選び、履修登録をする必要があります。
- 同じ科目が複数の曜日・時限に開講されている場合は、**どれか1つの曜日・時限を選んで履修してください。**
- いずれの科目も、2年以降に履修することもできます。また、2年以上の学生を対象として開講される科目もありますので、1年春学期に無理をしてたくさんの科目を履修する必要はありません。専門科目、必修科目の修得を優先した上で自分のペースで履修を進めていき、卒業までに必要な単位を修得するようにしてください。**共通教育科目の卒業要件単位数は38単位以上です。**言語系科目と理数系科目から11単位以上を修得し、それ以外を教養、環境、社会連携・国際理解科目から修得します。（例）言語系・理数系で15単位修得する場合、23単位以上を教養、環境系、社会連携・国際理解から修得する

教養、環境、社会連携・国際理解科目卒業要件 >>>

言語系科目・理数系科目と合わせて38単位以上修得すること

「ものづくり基礎実習Ⅰ」の履修について

実習や工作の経験が少ない学生や、金属加工、木材加工、電子工作などの基礎を総合的に体験したい学生向けの科目です。1年生のみ受講が可能です。

- 安全に作業できるよう定員を200名に制限しています。200名が50名ずつ4つの時間帯に分かれて受講します。
- 4つの時間帯とは、隔週の前半か後半か、午前（1、2時限）か午後（3、4時限）かです。いずれかの時間帯で2コマ連続で受講します。
- 受講希望者はポータルサイトで案内している
 - ①『ガイダンスと安全衛生講習』を視聴し、
 - ②『受講希望調査および安全衛生クイズ』
 に必ず回答してください。

締切：4月7日（日）23：59（厳守）

- 回答が履修の申込みとなり、それに基づき班分けがわれ、受講する時間帯が割り振られます。
- 回答が無いと履修登録だけでも受講は認められません。
- 班分け結果はポータルサイトで

4月9日（火）15：00

に掲示します。



QRコードは科目紹介動画へのリンクです

「健康とスポーツ」の履修について

春学期と秋学期で種目が異なります。春学期はバレーボール（木曜2限のみダンス）、ソフトボール、ソフトテニスから、秋学期はバスケットボール、サッカー、ソフトテニスから選択できます。希望する種目に応じて春学期、秋学期のいずれかで履修してください。

1回目の授業は、普段着で体育館に来てください。ガイダンスと種目の選択を行います。

✓ 各時間、種目の人数の上限があります。詳細は1回目の授業にて説明をします。

➤ 学修サポート体制

学修支援センター

英語・数学・物理のチューターが常に複数名待機しています。授業内容で分からないところが出てきたら、まずは気軽に訪れてみましょう。

専門科目に関する質問も、SA（スチューデントアシスタント）の先輩に質問することもできますよ。

履修相談や学修方法のアドバイスなども受けることができます。

学修相談時間は、平日の10:00～17:00です。場所は背表紙のマップを参照してください。

教員のオフィスアワー

授業内容について、担当教員に直接質問や相談をしたい場合は、オフィスアワーを利用しましょう。オフィスアワーは、全ての教員が週に4コマずつ設定しています。

質問をしたい教員のオフィスアワーを、ポータルサイトで調べてから研究室を訪ねましょう。

オフィスアワーの参照方法

- ①ポータルサイトメニューから【時間割】→【教員時間割】選択。
- ②教員の氏名を入力し【検索】をクリック。

➤ セメスター科目、クォータ科目とは？

セメスター科目：1年を春学期と秋学期の2つに分け、学期単位で完結する科目

クォータ科目：1年を第1～第4クォータまで4つに分け、クォータ単位で完結する科目

2024年度の授業期間 ※授業期間終了後に、定期末試験、集中講義、補習期間等があります。

春学期 4/12-7/22 (週1回×14週)		秋学期 9/21-1/20 (週1回×14週)	
1Q 4/12-5/31 (週2回×7週)	2Q 6/7-7/23 (週2回×7週)	3Q 9/24-11/12 (週2回×7週)	4Q 11/19-1/14 (週2回×7週)

2024年度春学期から
試験運用開始！

女子学生のための生理休養『F休養』



月経での体調不良による出席困難を考慮し、
クォータ科目の一部で試験的に運用します。

詳しい内容は右のQRコードから
フライヤーを見て確認してください。
(フライヤーはオリエンテーションでも配布されます)



言語系科目

言語系科目にはクォータ科目とセメスター科目があります。(以下の表を参照)
クォータ科目では基礎的な英語の語彙・文法・読解力を身に付けます。必修科目の「リーディングスキルⅠ」「リーディングスキルⅡ」を修得した後は、セメスター科目の中から各自の興味に合わせて履修する科目を選択して履修します。言語系科目は全て1単位です。卒業要件は6単位以上ですので、**必修科目2科目を含む6単位以上**を修得してください。

赤字：必修科目(3年⇒4年の進級要件)



クォータ科目	セメスター科目
修得単位数：1単位	修得単位数：1単位
「基礎英語Ⅰ」 「基礎英語Ⅱ」 「リーディングスキルⅠ」 「リーディングスキルⅡ」	「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」 「プレゼンテーションⅠ」 「プレゼンテーションⅡ」 「上級英語Ⅰ」「上級英語Ⅱ」

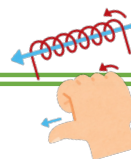
卒業要件 >>> 必修科目2単位を含む6単位以上修得すること

➤ 英語クォータ科目

「基礎英語Ⅰ」「基礎英語Ⅱ」「リーディングスキルⅠ」
「リーディングスキルⅡ」をスムーズに学修するために

- ・ プレースメントテストで指定された科目から履修をスタートします。
- ・ これらの科目は累進科目です。例えば、プレースメントテストの結果で「基礎英語Ⅰ」からスタートした場合、「基礎英語Ⅰ」を修得後、「基礎英語Ⅱ」⇒「リーディングスキルⅠ」⇒「リーディングスキルⅡ」と履修を進めます。
- ・ 1年生の間に必修科目の「リーディングスキルⅡ」まで修得することを目標としましょう。
- ・ 「リーディングスキルⅡ」まで時間割に履修科目が自動で登録されます。
- ・ 英語クォータ科目の履修取り消しはできません。履修登録されたクォータで必ず履修してください。
- ・ 履修する時限の変更はできません。指定された時限で履修してください。

理数系科目



理数系科目には下記の表のように10科目のクォータ科目と2科目のセメスター科目があります。

全学科必修科目の「工学基礎実験」では測定手法やレポート作成法を実験を通して修得します。一部の学科で必修科目に指定されている「数学」「物理Ⅰ」では、工学を学ぶ上で必要な数学・物理に触れ、基礎となる概念を理解できるようになります。必修の指定の有無に関わらず、1年のうちに修得しておくことが望ましいです。また、さまざまな資格を取る際に必要な科目もあります。詳しくは学生便覧を参照してください。

理数系科目は科目によって修得できる単位数が異なります。卒業要件に定められている通り、**必修科目1単位※を含む5単位以上**を修得してください。

※ ロボティクス学科、データサイエンス学科では「数学」「物理Ⅰ」も必修科目です。

※ 応用化学科では「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」も必修科目です。



赤字：全学科必修科目 青字：ロボティクス/データサイエンス学科のみ必修科目 緑字：応用化学科のみ必修科目

クォータ科目		セメスター科目
修得単位数：1単位	修得単位数：2単位	修得単位数：2単位
「基礎数学Ⅰ」 「基礎数学Ⅱ」 「工学基礎実験」	「数学」「応用解析」 「工学基礎物理」 「物理Ⅰ」「物理Ⅱ」 「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」	「確率論」 「統計学」

卒業要件 >>> 必修科目1単位を含む5単位以上修得すること
(学科が定める必修科目も修得すること)

数学科目

「基礎数学Ⅰ」2次関数、指数関数・対数関数、三角比・三角関数、ベクトル

2次関数などの関数やベクトルを中心に学習し、「数学」をスムーズに学ぶための基礎固めを行います。

「基礎数学Ⅱ」1変数関数の微分積分

微分積分を、計算技法を含めて集中的に学習し、「数学」をスムーズに学ぶための基礎固めを行います。

「数学」2変数関数の微分積分、線形代数

工学を学ぶ上で必要不可欠な数学概念を学びます。ロボティクス/データサイエンス学科は必修科目です。

「応用解析」ベクトル解析、複素解析、微分方程式

専門科目のさらに深い理解を目指して、「数学」を基礎に、上記の3つの内容を学習します。

物理科目

「工学基礎物理」運動、力、仕事とエネルギー、熱と温度、波動、電気など

物理の基礎的概念を修得することを目的とします。物理全般にわたる基礎を身につけ「物理Ⅰ」の導入に繋がります。

「物理Ⅰ」質点の運動、円運動、単振動、運動の法則、運動量、角運動量など

全ての工学分野で必要とされる物理学の素養である古典力学を修得し、専門分野を学ぶ上での基礎力を身につけることを目指します。ロボティクス/データサイエンス学科は必修科目です。

「物理Ⅱ」連続体、波動、熱、電磁気など

「物理Ⅰ」で力学を学ぶとともに身につけた数学的な記述方法を用いて、力学以外の分野の基礎を修得し、専門科目の理解に繋がります。

➤ 数学・物理のクォータ科目

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」「数学」「工学基礎物理」「物理Ⅰ」について

- ・ プレースメントテストで指定された科目から履修をすることができます。
- ・ これらの科目は累進科目です。例えば、プレースメントテストの結果で「基礎数学Ⅱ」からスタートした場合、「基礎数学Ⅱ」の修得後に「数学」⇒「応用解析」と進むことができます。
- ・ 時間割には、履修できる科目が自動で登録されています。履修する時限やクォータを変更することはできません。

ロボティクス/データサイエンス学科は必修科目ですのでこの内容は該当しません

- ・ **履修を希望しない場合は自分で履修登録を取り消す必要があります。**
※ 履修する予定のない科目を登録したままにするとGPAに影響しますので注意してください。ただし、「基礎数学Ⅰ」「基礎数学Ⅱ」「工学基礎物理」の成績はGPAには含まれません。
- ・ 第1クォータに自動登録された科目を取り消す場合、第2クォータに自動登録されている同じ教科の科目も取り消してください。例えば、第1クォータの「工学基礎物理」を取り消す場合は、第2クォータの「物理Ⅰ」も取り消します。
※ 第2クォータの取り消しを忘れた場合、履修登録期間終了後に教務課が取り消しを行います。この場合、履修登録単位数が減ってしまうので気を付けてください。
- ・ **誤って取り消してしまった場合は教務課で再登録の手続きを行います。**「クォータ科目の再登録申請用紙」をサポータルの『まとめサイト』からダウンロードし、必要事項を記載してください。ここでも時限の変更はできません。
- ・ 第1クォータで「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」「数学」「工学基礎物理」「物理Ⅰ」が不合格になった場合、第2クォータに登録されていた科目が自動で上書きされ再履修をすることができます。

第1クォータ「基礎数学Ⅱ」スタートの例

第1クォータの自動登録	第1クォータの成績	第2クォータの自動登録
基礎数学Ⅱ	基礎数学Ⅱ 合格	数学（変更なし）
基礎数学Ⅱ	基礎数学Ⅱ 不合格	基礎数学Ⅱ（上書き）

「応用解析」「物理Ⅱ」について

- ・ 「応用解析」「物理Ⅱ」は自分で履修登録をする必要があります。履修を希望する場合は、それぞれ「数学」「物理Ⅰ」を履修する次のクォータに登録をしましょう。
- ・ 「応用解析」は「数学」と同じ時限、「物理Ⅱ」は「物理Ⅰ」と同じ時限に登録してください。

不合格だった科目を再履修して合格すると、合格した時の成績で上書きされます。一度履修登録をした科目は諦めずに合格するまで再履修することをお勧めします。

「工学基礎実験」について

この科目は、実験科目であるため出席と実験レポートの提出は必須です。実験は数人のグループで行いますが、実験機材や教室の制約から学科によって履修時期が決まっています。そのため、学期始めに各自が履修登録をする必要はありません。**指定された時間割に自動的に履修登録されます。**また、授業は主にTeamsを使用しての情報発信（掲示、予習、課題提出など）となります。下記の表に示すように履修時期と自分が割り当てられている時間割を学期始めには必ず確認してください。

	水曜日	木曜日		水曜日	木曜日
第1クォータ	機械工学科	建築学科	第3クォータ	情報メディア工学科	電気電子通信工学科
第2クォータ	応用化学科	（両コース）	第4クォータ	データサイエンス学科	ロボティクス学科

この科目は**1年で1度のみの履修しかできません**。不合格になった場合は、次年度に再履修することになります。2年生以降の専門実験・演習の基礎を学ぶ内容なので、1年生で必ず修得しましょう。

履修方法・科目の内容に関する相談窓口

一般的な窓口対応時間は、月～金 9:00 - 17:00です

相談内容	相談先	場所
共通教育科目の履修について 教員研究室の場所について	共通教育学群事務室	① 2号館1階 (2-172室)
学修の相談/つまづき/学び直し など	学修支援センター ※学修相談は10:00から	② 5号館1階
履修している授業の内容について	授業担当教員（オフィ スアワー）	各教員研究室（場所の問 い合わせは①にて）
教職課程について	教職教育センター	② 5号館2階 (5-201室)
全ての科目における履修方法全 般について	教務課	③ 1号館1階
こころの相談（メンタルヘルス、 対人関係、進路などの悩み）	学生相談室	③ 1号館1階 (1-106室)

関連研究室・センター

名称	場所
英語教員研究室	④ W1棟2階
数学教員研究室	④ W1棟2階
物理教員研究室	⑤ E24棟2階
英語学習サポートセンター	② 5号館2階
健康管理センター／健康・体育研究室	⑥ 体育館横
LCセンター	⑦ 桜の広場横

